| 科目ナンバリング | U-LAS20 10001 SB48 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 英語リーディング ER69 1A4<br>English Reading | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 矢倉　喬士 | | |
| 群 | 外国語科目群 | 分野(分類) | | 使用言語 | 日本語 | | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2025・前期 | 曜時限 | 金4 | 配当学年 | １回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[技能領域]**

アカデミックリーディング

**[授業の概要・目的]**

この授業では、生物遺伝学研究者のレイチェル・カーソン (Rachel Carson) による古典的著作『沈黙の春 (Silent Spring)』(1962年) を用いて、基礎的な英語力を高めつつ、現代にも通じる地球環境問題についての教養を身につけることを目的とする。途方もなく長い地球の歴史に比べれば人類の歴史はごく短いものではあるが、その影響力は決定的なものであった。人類が地球に与えた影響は、21世紀に入ると「人新世 (Anthropocene)」 という語で追究されることになったが、それもレイチェル・カーソンの功績の延長線上にある。避けては通れない古典の地位を確立した著作は、豊かな英語学習の機会となるだろう。

**[到達目標]**

・英語の語彙力、文法の理解、読解力を高める。
・空欄補充式の課題によってリスニング能力を養う。
・テキスト内容に沿った設問に対して、英語で自らの主張を組み立て、会話ができるようになる。
・20世紀から加速度的に地球への影響力を増した科学技術への見識を養う。

**[授業計画と内容]**

第１回　イントロダクション（授業内容説明、プリントによる英語学習）
第２回　Chapter1
第３回　Chapter2
第４回　Chapter2
第５回　Chapter3
第６回　Chapter3 （中間試験概要発表）
第７回　Chapter4
第８回　中間試験＆フィードバック
第９回　Chapter4
第１０回　Chapter5
第１１回　Chapter5
第１２回　Chapter6
第１３回　Chapter6（期末試験概要発表）
第１４回　Chapter7
第１５回　期末試験＆フィードバック

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

・授業への参加姿勢と貢献（予習・発表・提出物を総合的に判断）→30%
・中間試験　→30%

英語リーディング ER69(2)へ続く↓↓↓

**英語リーディング ER69(2)**

・期末試験　→40%

５回以上の欠席で単位取得不可とする。

**[教科書]**

Rachel Carson 『Silent Spring Vol. 1』（英宝社、1993年）ISBN:9784269180420

**[授業外学修（予習・復習）等]**

毎回５ページ程度の英文の予習を前提とする。予習はグループワークにも影響するので欠かさずに行うこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

**[主要授業科目（学部・学科名）]**